※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭 311　子どもの発達と保育　新訂版（実況出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達と保育について基礎から学びます。妊娠や出産、乳児のいる生活、子どもが育つ環境、成長や発達の過程などについて、親の視点だけではなく、配偶者やきょうだいなど身近な人ができるサポートや社会の視点にまで広げて子どもを産み育てることについて考え学ぶ授業です。2 学期には近くの保育所に訪問させていただき、集団保育の現場での体験学習の実施を計画しています。

２　学習の到達目標

子どもの発達と保育について関心を持つ。
子どもの成長や発達に関する基礎的な知識を身に付ける。
乳幼児のお世話やかかわり方（保育にかかる衣食住）に関わる基本的な技能や態度を身に付ける。
子どもとふれあい子どもについての理解を深める。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	課題を考え、解決に向け思考を深め、適切に判断する力を身に付けている。	様々な事例を通して、検討できる。基礎的・基本的な技能を身に付けている。	基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録、レポート、発表　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録、レポート、発表　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 作品、実習記録、レポート、実技テストの結果、自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 小テスト、定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価基準	評価方法
1学期	子どもの発達の特性	・胎児の発育・発達	○	○	○	○	a:関心を持ち、意欲的な態度をとる。	授業観察
		・乳児のいる生活	○	○	○	○	b:課題をみつけ、解決策を考える。	プリント
		・沐浴	○	○	○	○	c:様々な事例を通して、検討する。	レポート
		・布おむつと紙おむつの比較、実験、考察	○	○	○	○	基礎的・基本的な技能を身に付ける。	定期考査
		・乳幼児発育・発達	○	○	○	○	d:基礎基本の知識を身につける。	
	子どもの発達の過程	・運動機能と感覚機能	○		○	○	a:関心を持ち、意欲的な態度をとる。	
		・言葉と情緒の発達	○		○	○	b:課題をみつけ、解決策を考える。	
		・愛着関係と人格形成	○	○	○	○	c:様々な事例を通して、検討する。	
		・絵本の読み聞かせ練習	○		○	○	基礎的・基本的な技能を身に付ける。	
							d:基礎基本の知識を身につける。	
2学期	子どもの生活	・栄養と食事	○	○	○	○	a:関心を持ち、意欲的な態度をとる。	授業観察
		・子どもの遊び	○			○	b:課題をみつけ、解決策を考える。	プリント
		・生活習慣の形成	○			○	c:様々な事例を通して、検討する。	実技テスト
		・健康管理と事故防止	○	○		○	基礎的・基本的な技能を身に付ける。	定期考査
							d:基礎基本の知識を身につける。	
	子どもの保育	・保育の意義と重要性	○			○	a:関心を持ち、意欲的な態度をとる。	
		・家庭保育と集団保育	○	○	○	○	b:課題をみつけ、解決策を考える。	
		・子どもとのかかわり方	○	○	○	○	c:様々な事例を通して、検討する。	
		・絵本の読み聞かせ発表	○		○	○	基礎的・基本的な技能を身に付ける。	
		・保育所実習	○		○	○	d:基礎基本の知識を身につける。	
3学期	子どもの福祉	・子どもの福祉	○	○		○	a:関心を持ち、意欲的な態度をとる。	授業観察
		・子育て支援	○	○	○	○	b:課題をみつけ、解決策を考える。	プリント
		社会的支援の必要性					c:様々な事例を通して、検討する。	定期考査
		児童虐待とその予防					基礎的・基本的な技能を身に付ける。	
		これからの子育て支援					d:基礎基本の知識を身につける。	
		子育て支援の課題						